

——開化錦絵——

鉄道、人力車、蒸気船などの開化乗り物や洋館、居留地、ガス燈、洋装の人物など開化文物が描かれており、文明開化に対する庶民の反応や、当時の世相をうかがい知ることができる。



摂州神戸西洋館大湊の賑い(左)

(二代目長谷川貞信画、明治4年頃、神戸市立博物館蔵)

開港により、多くの西洋人が神戸へ住みつき、その数は明治元年で230人にのぼった。外国商館第1号は、同3年建築のドイツ商館で、同5年には海沿いだけで9軒の商館が建ち並んだ。

摂州神戸海岸繁栄之図(右)

(二代目長谷川貞信画、明治4年頃、神戸市立博物館蔵)

明治4年頃の神戸港で、港には蒸気船や外輪船、和船など内外の船が出入して賑わっている様子がうかがえる。

